

お知らせ

INFORMATION

No.2017-29
2017年8月
病体生理研究所

新規受託開始のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたので
ご案内いたします。

何卒、ご利用頂けますようお願い申し上げます。

敬具

記

【新規受託開始について】

◆百日咳抗体 I g A [16403]

◆百日咳抗体 I g M [16406]

…検査実施施設(S)

※項目情報裏面参照

《受託開始日》：2017年8月21日（月）受付分より

【新規項目情報】

項目名称	百日咳抗体 IgA	百日咳抗体 IgM
コード	16403	16406
検体材料	血清 各 0.3 mL	
保存	冷蔵	
採取容器	No.1→No.5	
検査方法	ELISA	
基準値・単位	判定：(-) NTU 値：8.5 未満 判定基準：下記参照	
所要日数	3～6 日	
実施料 (区分)	80 点 D012 12	
判断料	144 点 (免疫学的検査)	

【判定基準】

NTU値	判定
<8.5	(-)
8.5～11.5	(±) ※
11.5<	(+)

※2～4週間後に採血した血清による再検査をお勧めいたします。

百日咳は、主に百日咳菌の気道感染による急性呼吸器感染症であり、ワクチン接種前や未完了の乳幼児が発症した場合、重症化する傾向があります。2000年以降はワクチン効果が減弱した成人患者の報告数が増加し、乳幼児に対する感染源となっていることから、成人を含めた早期診断・治療開始が重要と考えられています。

百日咳の検査は、培養と百日咳抗体 IgGに加え、2016年11月より遺伝子検査が保険適用となっています。百日咳抗体 IgAとIgMが加わることで、早期診断への検査体制がさらに充実することとなりました。

百日咳抗体 IgA は、百日咳毒素 (PT) および繊維状赤血球凝集素 (FHA) の総 IgA 抗体価を測定し、百日咳抗体 IgM は、百日咳菌に対する IgM 抗体価を測定いたします。IgA 抗体は病日約 21 日、IgM 抗体は病日約 15 日をピークに発現し、IgA 抗体は IgM 抗体よりも持続して検出されることが確認されています。IgA および IgM 抗体はワクチンの影響を受けないため、これまで急性期と回復期のペア血清を必要とした抗体検査において、単一血清での診断率向上が期待されています。

以上